

(6) 本埜中学校〔学校規模：令和元年度／小規模校（過小）〕

学区内における生徒数の推移は減少傾向にあり、実際の入学者数は、近接する滝野中学校や印旛中学校、小林中学校への学区外就学者数の状況により、さらなる減少が見込まれます。

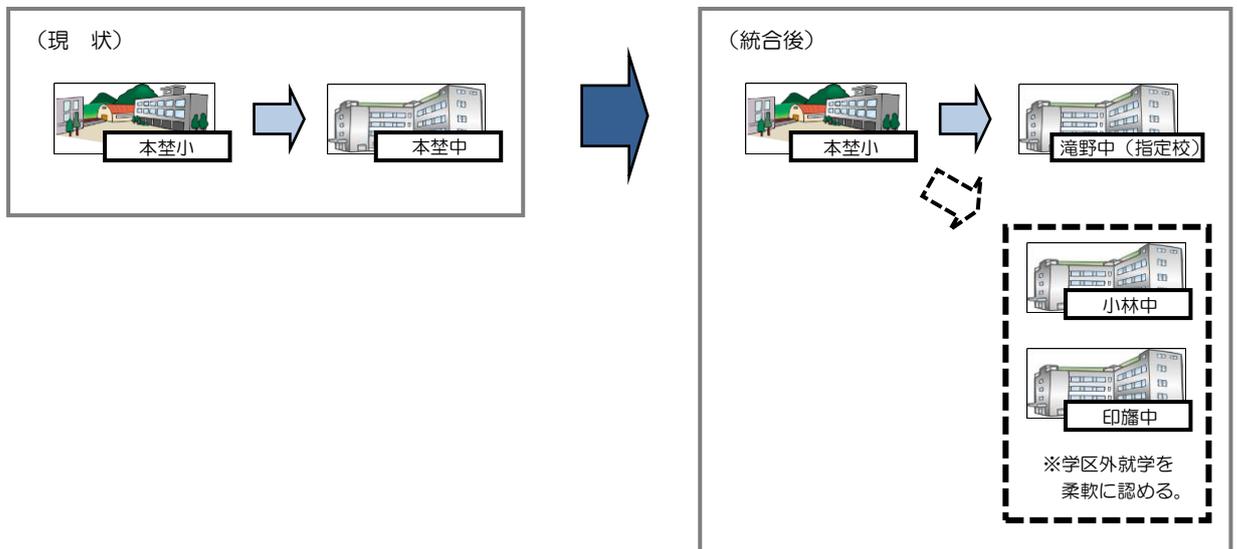
また、現在、各学年1学級を有していますが、全校生徒数が少なく、人間関係の固定化や部活動の選択肢などの課題があることから、それらの課題解決に向けた対応が必要と考えます。

学校適正配置シミュレーションでは、小林中学校及び印旛中学校との組み合わせや学校選択制について比較検討しましたが、統合後の通学距離、地域とのつながり、学区外就学者数の状況等を勘案し、下記の検討結果に至りました。

【検討結果】

滝野中学校との統合を進めます。なお、通学距離への配慮として、隣接校である小林中学校及び印旛中学校と連携して通学区域制度の弾力的な運用を行い、小林中学校と印旛中学校への学区外就学を柔軟に認めることとします。

【イメージ図】



【統合後の学区】

